

8月の経営レポート

サンプル株式会社(見本・架空の会社) 様 / 2026年4月～2026年8月(5か月) /
水谷亘税理士事務所 2026年9月30日

売上は好調。人を増やした分、利益は一時的に減っています



売上

好調

2,110万円

前年より +11%(4～8月の合計)

毎月、前年より1割ほど多い売上が続いています。



利益(本業のもうけ)

注意

213万円

前年同じ時期は 321万円

4月に1名採用した分、人件費が増えました。



お金(現預金)

好調

1,920万円

8月末。毎月の支出の約5.1か月分

5月に税金を納めました。十分な残高があります。

今月の3つのポイント

- 1 売上は毎月、前年を上回っています**
4月から8月の売上は2,110万円で、前年より11%増えました。毎月決まって入る保守の売上も、月120万円から140万円に増えています。
- 2 利益が減ったのは、採用による一時的なもの**
本業のもうけは213万円で、前年より約108万円少なくなりました。主な理由は4月の採用で、人件費が前年より約196万円増えています。新しい方が戦力になれば、利益は戻っていくと考えられます。
- 3 お金は十分にあります**
8月末の現預金は1,920万円で、毎月の支出の約5か月分です。5月に前期分の税金を納めたため少し減りましたが、心配のない水準です。

お願いしたいこと

- 4月に買ったパソコン等(42万円)の明細(品名と1台ごとの金額)を送ってください。金額によって会計の処理が変わります。
- 6月の雑収入(15万円)が何の入金か教えてください。
- 冬のボーナスを出すご予定があれば、おおよその金額を教えてください。

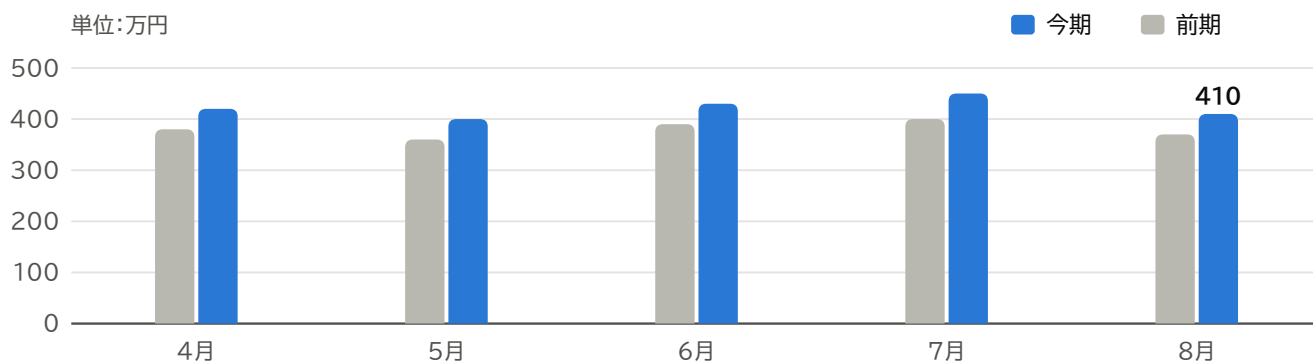
今やっておくとよいこと

- 秋ごろに、今期の利益の見込みを一緒に確認しましょう。人を増やした年は、利益が前年より少なくなる可能性があります。
- パソコンやソフトなど大きな買い物の予定があれば、早めにご相談ください。買う時期によって今期の利益が変わります。

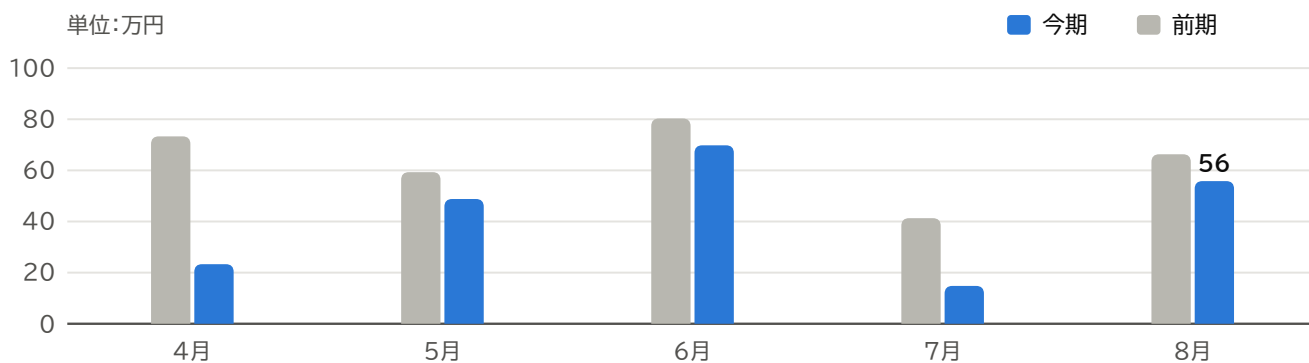
※ マネーフォワード クラウド会計の8月末時点の帳簿をもとにしています。決算前の数字のため、決算で変わる場合があります。

グラフで見る

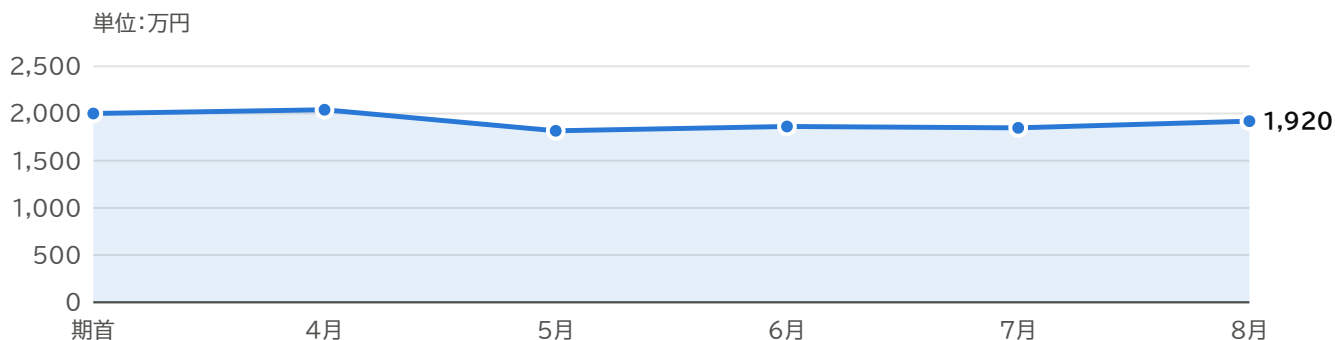
売上の推移(前期との比較)



利益(本業のもうけ)の推移(前期との比較)



お金(現預金)の残高の推移



会社の体力を3つの数字で

すぐ払うお金への備え

3.8倍

近いうちに支払うお金に対して、1年以内に現金になる資産がどれだけあるか。1倍以上なら安心の目安です。

返さなくてよいお金の割合

47%

会社の財産のうち、借入金や未払金など、これから支払うお金を除いた部分の割合です。高いほど経営が安定しています。

売上に占める人件費

47円

売上100円のうち、人件費に使った金額です。業種によって目安は変わります。

詳しく見たい方へ

以下は会計の用語・千円単位の表です。金融機関への説明などにご利用ください。

財務指標(8月末)

良好 すぐ払うお金への備え

流動比率

383%

前年同月末 327% 改善

業界平均 254% 業界平均より良い

1年以内に払うお金に対する、1年以内に現金になる資産の割合。200%以上なら安心、100%を切ると注意。

良好 手元資金の厚み

当座比率

381%

前年同月末 326% 改善

業界平均 209% 業界平均より良い

現預金と売掛金だけで、1年以内に払うお金をどれだけまかなえるか。100%以上が目安。

良好 返さなくてよいお金の割合

自己資本比率

47%

前年同月末 30% 改善

業界平均 50% 業界平均に届かず

会社の財産のうち、借入金や未払金など、これから支払うお金を除いた部分の割合。40%以上なら安定、マイナスは債務超過。

参考 売上から残る粗利の割合

売上高総利益率

70%

前年同期 70% 横ばい

業界平均 47% 業界平均より良い

売上から原価を引いて残る割合。業種によって水準が大きく違うため判定はせず、前年や同業との比較で見ます。

良好 本業のもうけの割合

売上高営業利益率

10%

前年同期 17% 悪化

業界平均 6% 業界平均より良い

売上100円あたりの本業のもうけ。5%以上なら良好、マイナスは本業で赤字。

良好 会社全体のもうけの割合

売上高経常利益率

11%

前年同期 17% 悪化

業界平均 6% 業界平均より良い

本業に、利息や雑収入などを加えた後のもうけの割合。

良好 借入金の重さ

借入金月商倍率

2.2か月

前年同月末 2.9か月 改善

業界平均 1.5か月 業界平均に届かず

金融機関からの借入金が、平均月商の何か月分か。3か月以内なら軽め、6か月を超えると重め。

良好 売上の回収スピード

売上債権回転期間

1.1か月

前年同月末 1.1か月 横ばい

業界平均 1.7か月 業界平均より良い

売掛金が平均月商の何か月分か。短いほど早く回収できています。

「良好・普通・注意」は一般的な目安による表示で、業種や事業の段階によって適切な水準は異なります。利益率・月商は4月からの累計で計算しています。

業界平均：中小企業実態基本調査(令和6年度決算実績)の「情報サービス業」(法人企業)。業界全体の合計値から計算した比率で、決算の数字です。このレポートは決算前の数字のため、利益率などは目安としてご覧ください。出典：中小企業庁「中小企業実態基本調査」(e-Stat)

損益計算書 累計の前年同期比較(4月～8月)

科目	前年同期	当期	増減	増減率
売上高	19,000	21,100	+2,100	+11.1%
うち受託開発売上	13,000	14,100	+1,100	+8.5%
うち保守運用売上	6,000	7,000	+1,000	+16.7%
売上原価	5,700	6,330	+630	+11.1%
売上総利益	13,300	14,770	+1,470	+11.1%
販売費及び一般管理費	10,095	12,645	+2,550	+25.3%
うち人件費	8,010	9,965	+1,955	+24.4%
営業損益	3,205	2,125	▲1,080	▲33.7%
営業外収益	0	150	+150	—
営業外費用	50	45	▲5	▲10.0%
経常損益	3,155	2,230	▲925	▲29.3%

単位:千円。人件費＝販管費のうち役員報酬・給料・雑給・賞与・法定福利費・福利厚生費など。前年同期は2025年4月からの同じ月数。

月次推移

科目	4月	5月	6月	7月	8月	累計
売上高	4,200	4,000	4,300	4,500	4,100	21,100
前期 売上高	3,800	3,600	3,900	4,000	3,700	19,000
売上総利益	2,940	2,800	3,010	3,150	2,870	14,770
販管費	2,707	2,312	2,312	3,002	2,312	12,645
うち人件費	1,855	1,855	1,855	2,545	1,855	9,965
営業損益	233	488	698	148	558	2,125
営業外収支	▲9	▲9	141	▲9	▲9	105
経常損益	224	479	839	139	549	2,230
月末現預金	20,387	18,157	18,628	18,476	19,196	—

単位:千円。

貸借対照表の内訳

項目	前年同月末	当期(8月末)	増減
流動資産	19,926	23,816	+3,890
うち現預金	15,746	19,196	+3,450
うち売上債権	4,070	4,510	+440
固定資産	1,975	1,650	▲325
資産合計	21,901	25,466	+3,565
流動負債	6,085	6,217	+132
固定負債	9,161	7,157	▲2,004
純資産	6,655	12,092	+5,437
(参考)金融機関借入金(短期含む)	11,165	9,161	▲2,004

単位:千円。決算整理前の数値です。法人税等の見込み額は計上していません。